

# ひだまり

第2版  
令和元年 秋号  
公立八鹿病院 緩和ケア病棟



9月とはいえ、暑さの厳しい毎日ですが、皆様いかがお過ごしですか。秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。皆様はどんな秋を過ごされるのでしょうか。緩和ケア病棟では季節を感じていただくために季節の行事をおこなっています。今回はお月見会を行いましたのでその様子をお伝えしたいと思います。そして、緩和ケアについてお話をしたいと思います。

## お月見会を行いました



9月18日(水)午後よりお月見会を開催しました。入院されている患者さんとご家族と一緒に参加され、お月見や秋の歌を歌い、工作と一緒に作成しました。また、茶話会ではお団子(みたらし、きなこ)を食べながら楽しくお話しして過ごしました。飾り付けは、近くの山に実った栗やざくろ、ちょっと早いみかん、すずきをスタッフがそれぞれ持ち寄りました。

患者さんからも「おだんご美味しい」「楽しかった～」との言葉もいただき、秋の訪れを感じていただける会になったのではないかと思います。



## 緩和ケアってどんなイメージ??

緩和ケアは「手遅れの人が受けるもの」「緩和ケア=死」  
そんなイメージを持っておられませんか?

緩和ケア病棟でも、患者さんご家族から、「緩和ケア病棟は、最期の病棟である」と言われることがあります。しかし、実際に緩和ケア病棟で入院生活を送られ、「思っていたところと違った」「病棟が変わって父の表情が変わった」とご意見をいただいています。

緩和ケアを受けられる中で、一瞬でも心地よい時間が過ごせるケアができると私たちも嬉しくなります。その反面、症状コントロールが難しく、患者さんやご家族と共に悩むこともあります。そんな時こそ私たちは、ひとりひとりの患者さん、ご家族と共に寄り添っていくことを大切にしています。みなさんも「緩和ケアって、なんだろう?」と一度考えてみませんか?



**がんと診断されたら、すぐに緩和ケアの対象です。**  
**「がん患者さんとそのご家族の心とからだの痛みを和らげること」**  
**これが緩和ケアの大切な目的です。**

緩和ケアは、緩和ケア病棟、外来、在宅、あらゆる場所で受けることができます。緩和ケア病棟では、外来、緩和ケア面談を通して、在宅支援もおこなっていきます。

こんなこと聞きたいな、どのようにしたらいいかわからないなと思われましたら、地域医療連携室を通して、お気軽にご相談ください。



### 退院されたご家族からのメッセージを紹介します

掌の温もりの伝わるケア・看取りをありがとうございました。父の手に数珠を持たせてくださったこと、枕元に庭に咲く花を包んでくださったこと、忘れません。  
見送る私達の心温まる思い出となりました。皆様と父の〇日間に感謝を申し上げます。

### ～編集後記～

緩和ケアって、なんだろう?考えることから始まると思います。患者さん・ご家族の意見を大切にこれからも学ぶ姿勢でがんばりたいと思います。

編集委員

